やっさ (毎月1回20日発行) 社団法人 三原青年会議所新聞 No.239 1997年 8月20日

熊さん&御隠居さん ぶっつけトーク

熊さん「御隠居、７月８日に地方分権の第２次勧告がだされたっつうが、いったいこれはなんだい」

御隠居「これはね、熊さん、国の機関で地方分権推進委員会って言うところがあって、市町村の合併の推進や、国庫補助金の原則廃止・縮減を提言しているのさ。」

熊さん「えらく難しくって、俺にはわからねえや。」

御隠居「主に次の７つの事をいっているんだよ。」

地方分権推進法が、５年前に、国会で時限立法という形で可決され、この７月８日に国の地方分権推進委員会から、市町村合併の推進や、国庫補助金の原則廃止・縮減などを盛り込んだ第２次勧告が橋本首相に提出された。

第２次勧告の要旨は次の通りである。

1．国と地方自治体の新しい役割分担。
2．国と自治体の関係についての新たなルールの創設。
3．必置規制の見直し地方出先機関の在り方。
4．国庫補助負担金の整理合理化と地方税財源の充実確保。
5．都道府県と市町村の新しい関係。
6．自治体の行政体制の整備、確立。
7．地方分権の推進にともない必要となるその他の措置。

熊さん「よけいわからねえや。もっとわかりやすくいってくれよ。それに、市町村の合併の推進というのは、どういうことだい。」

御隠居「そうだねえ、今は、100万人以上の政令指定都市、30万人以上の中核都市、とそれ以外というように国が線引きをして、国の行政の機能の一部を移管しているんだよ。」

熊さん「その中核都市って言うのは、何なんだい。それと、三原市はどうなんだい。」

御隠居「中核都市は、人口が30万人以上で、面積が100km²以上の地域の中心的な役割りを持つ都市の事だよ。」

熊さん「なんだ、三原市は、人口８万３千人だもの。全然関係ないじゃないか。」

御隠居「いや、今度の勧告は、中核都市や市になる条件が緩和されて、中核都市に準じた市を作れるんじゃよ。」

熊さん「じゃ、30万人以下でもその地方の中心的な都市だったらいいという事かい。」

御隠居「そうじゃな。そのためには、今後三原市も本郷町や久井町、瀬戸田町といった近隣町村との合併を前向きに検討する必要があるな。」

熊さん「でも、市町村の合併というと、どこの市町村でもあまり積極的でないって言うぜ。」

御隠居「そうなんじゃ。どこの市町村も利害関係や、住民意識のちがいなどがあって、今のままでいいという風潮になっておるんじゃ。」

熊さん「じゃあ、いつまでたっても変わらないじゃないか。」

御隠居「いや、今度の勧告には、住民が発議して議会で合併協議会の設置が否決されても、住民投票でその協議会が設置できるようになるんじゃ。」

熊さん「ということは、オレ達住民がやろうと思えば出来るって事だな。」

御隠居「そういう事じゃ。その地域の問題についてはそこに住む人々で考え、責任と自覚を持って決定するという、いわゆる住民の意志が尊重されやすくなるんじゃな。」

熊さん「それと、地方分権になると市民の税金も多少変わってくるのかね。」

御隠居「そうじゃな。今までは、国の言う通りにやっていたのじゃが、住民税の税率の制限をなくしたり、地方債も許可制から事前協議制にして、市の裁量でものごとがある程度決められるようになるんじゃ。ほら、例えば、宮浦町の文化会館を建て替える件だって、三原市が独自の市債や目的税を導入する事で財源を捻出する事はできるんじゃ。しかしこれはいわゆる借金や増税じゃからよく考えてゆかんといけない問題じゃろうな。」

熊さん「へぇーそりゃ大変な事ですよ。ところで、市債って言うのは、三原市ではどれくらい発行しているのですかね。」

御隠居「今年は、69億円も発行しているんじゃ。これは、歳入の20%にもなっているんじゃよ。」

熊さん「ということは、400万円の年収のサラリーマンに例えると、80万円も借金をしている事になるじゃないか。で、毎年いくら返しているんすか。」

御隠居「今年は、39億円じゃよ。」

熊さん「えーってことは、今年の分だけでも30億円も借金が残る事になるんだね。このまま行くと大変な事になるじゃないすか。」

御隠居「そうなんじゃ。だから、市民１人１人が責任を持って自分の事のように考えて、行政やそれをチェックする議会に対しても常に目を光らせるという事も大切じゃ。」

熊さん「ということは、今までは、お上の言いなりになってまかせっきりになっていたものが、てめえの町の事は、てめいたちで考えろという事になるんだね。」

御隠居「そうじゃな。」

熊さん「でも御隠居さんよ、考えても物を言うところがないじゃないか。オレは、議員の先生方の顔もあまり知らないし、役所に行ってもどこの窓口に行きゃいいのかわからないし、どうすりゃいいんだい。」

御隠居「そうなんじゃ、だから住民の声をきいてくれるところ、誰でも気軽に相談のできるところを早く作ってもらわなくちゃいけないね。」

熊さん「俺もこれからは、ボーっと暮らしてたらいけねえな。」

御隠居「そうさ、これからは、暮らしやすい町になるのも、暮らしにくい町になるのも、私たち住民次第という事だよ。」

熊さん「どこかの誰かが何かをする動きがこの町にはないのかね。」

御隠居「そういえば、(社)三原青年会議所って言うところが地方分権について住民は、どうすべきか、住民主体の行政の体制作りはどう作るべきかを広域の住民にアンケートをするらしいね。」

熊さん「へーそれは、おもしろそうだ。どんな結果が出るか楽しみだね。」

この勧告で合併について今までと大きく違うところは、従来では、市町村が主体となってやっていたものが、合併特例法による住民発議制度によって合併協議会の設置が議会で否決されても、住民の要望により、合併協議会の設置が促進される事である。

これからは、住民一人一人の意識が大切になってくる。

地方分権で重要問題である税財源では、法定外普通税導入の許可制度を国との事前協議に緩和する。法定外目的税を創設して、市町村民税の制限税率を廃止する。地方債の許可制を廃止して事前協議とする事になる。

ちなみに平成９年度の、三原市の市債発行は、約69億円にも上り、これは一般会計の歳入の２０%にもなっている。

このように税財源の権限が地方行政に委ねられた場合、株式会社三原市としての経営能力が大いに、住民生活を左右する事になるだろう。

このような事から、国からのトップダウンの政策から、住民にも責任を持たせるボトムアップの政策にかわってくるだろう。

(社)三原青年会議所は、地方分権の問題について、国・県・市にまかせっきりではなく自分たち(住民)はどうすべきか、住民主体の行政の体制をどう作るべきかを考えるため、広域アンケートによる住民の意識調査を進めていきたいと思います。みなさまのお手元にアンケートが届きました時には、ご協力をよろしくお願い致します。

(株)天満屋三原店 (有)(有)東亜不動産 (有)ときわ薬局 富野機工(株)三原営業所 中川広告(中川の義さん) (株)中野モーターズ 中村電工(株) 難波産婦人科 (株)新日ぎゃらりいは

(株)橋本組の未来形 (株)セイム —本年五月社名変更。

半さん 平鶏卵 浜田市(有)平木屋 広島電気工事(株)富久屋 富士金属工業(株)藤井鋼産 フラワーショップふじもと ベスト電器三原店FC自家機(株) 本田石材工業(有) 松浦生花店 松田鐵工所(株) まじま製麺 ジュエリーサロンまつば(株) おしゃれサロンマルゼン 丸和石油(株) 三原営業所 三ナミゴルフ(有)(株) 三原給食センター(株) 三原グランドパレス(株) 三原シティホテル(株) 食協チェーン三原食糧企業組合 三原スバル販売(有)(有) 三原ターミナルホテル(有) 三原塗装(株) 三原本町霊園 三宅塗装工業(有)(有) 三宅石材店 盛影塗装(株)(株) 保道建設(株) ヤっさ石油(株) 山下不動産 (医)明清会山田脳神経外科 マイエッグヤマナ 山本衣料(株) 吉池商店(有)(有) 吉岡建具製作所(有) 由水酒販(株) 読宣備後折込三原営業所(株)(株) ラ・ベルフィーユ 下町の居酒屋六文銭 渡辺土地建物(有)

上質紙 献上銘菓 ヤッサ饅頭 三原の味です名物です

(株)山本住設 吉井ビジュアート(有) (健・生活館)よしなが 夜船司法書士事務所 ラウンジOB 理研設計(株) ローソン三原臥竜橋店 買・売・賃 わたべ (株)ヤスミチ美容室 保永犬猫専門病院(湘)(株) 明治生命保険 三宅好印刷(株) 三宅石材店 三原スーパー(有) 三原精機工作(有) エム・キャット三原テレビ 三原金融協会 三原国際ホテル(株)(株) 三原重量(有) 三原カンツリークラブ(株) 丸仁建設(株) スナックマリア 宝石・時計 マツヤ (有)(株)みどり書店 (有)(株)ミッキー堂 三原国際ホテル(株)(株) 三原重量(有) 三原カンツリークラブ(株) 丸仁建設(株) スナックマリア 宝石・時計 マツヤ (有)(株)みどり書店 (有)(株)ミッキー堂 松尾社会保険労務士事務所 (有)松野商店 本郷建材工業(株) ホンダプリモ三原皆実(株) 益谷建設(株) 尾道市(有)藤本乾物 (株)富士鉄工所 フジ・エンタープライズ(有)(株) 藤井建設 広島県東部鮮魚冷凍魚事業(協) ファミリー歯科診療所 スタンドひらた 桧山幸三税理士事務所 (有)(株)ハリカ三原店 (株)原アルミ建材 鉄板焼花のれん (有)花岡商会 ホビーショップハタイ (株)皆実町灰谷鉄工所 博善 中間醸造(有)(有) 中川書店(有)(株) 鳥徳永興行(有)(有) 童夢写場(有)(有) 土居写場(有)(有)

本誌"やっさもっさ"は、(社)三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

第13回わんぱく相撲全国大会出場

※わんぱく相撲は(社)東京青年会議所の登録商標です

去る７月27日(日)東京両国国技館で第13回わんぱく相撲全国大会が開催されました。

郷土の代表として出場したのは、日高健人君(本郷南方小４年)、宮田浩明君(沼田東小５年)、頼兼稔和君(深小６年)の３名。

一行は、７月26日(土)、台風のなか飛行機で上京。大会会場となる東京両国国技館にてリハーサルの後、宿泊先である大鵬部屋(元横綱・大鵬)へ向かいました。

部屋では大鵬親方自ら子ども達を出向かえ、激励してくれました。礼儀に厳しい相撲部屋の雰囲気を味わいながら他のチームの子どもたちと一緒にちゃんこ鍋をごちそうになり、楽しい時間をすごしました。

そしていよいよ当日。わんぱく力士に同行した私達も緊張が高まってきます。「頑張ってくれ」と応援に熱が入ります。

全国から集まった各学年157名計471名のわんぱく力士達が国技館の土俵のうえで熱戦を繰り広げました。郷土代表の３力士は精一杯頑張りましたが力及ばずいずれも初戦で敗退してしまいました。全国大会という、ひのき舞台で、平常心で自分の相撲を取ることの難しさを痛感させられました。勝つことの喜びを味わうことはできませんでしたが、多くの力士が練習を重ね努力している姿を目のあたりに見ることが出来たことは、子ども達にとって大きな刺激となり、心の糧となり、生涯忘れられない夏休みになったことでしょう。

わんぱく相撲は、次世代を担う子どもたちの心豊かな成長を願い、心身の鍛練と健康の増進をはかることを主たる目的として開催しています。国技である相撲を通して、友達の輪・会話の輪が広がり、21世紀を生きる地球市民としての心が培われてゆくことを願っております。

来年のわんぱく相撲にも是非奮ってご参加ください。

また、ご声援をいただきました皆様方、関係各位にはご報告旁々、心よりお礼申し上げます。

わんぱく力士の感想文　わんぱく相撲全国大会に出場して

4年生 日高 健人君

５月25日三原の大会でゆうしょうして、東京へ行けることになった時やった！と思いました。

あきつや竹原へ何ども練習に行っていろいろなわざを練習しました。

しあいの前日、初めて国技館の土俵を見て、あんな人がたくさんいる前ですもうをとるのか、明日、だいじょうぶかなあと心配になりました。ゆう方、大鵬べやに行きました。大鵬べやにはすごいトロフィーがたくさんありました。大鵬おや方にあえてうれしかったです。同じへやにとまった長野の人と仲よくなったので、来年もあえたらいいと思います。

しあいの日は早く目がさめました。ぼくのとりくみは６番目で早かったけど、まつ時間がとても長くかんじました。ものすごくきんちょうして、どきどきがおさまりませんでした。思いっきりれんしゅうの時みたいにぶつかっていこうと思ったけど、体が重くかんじました。思うように動けないまま手をついてしまい、くやしかったです。またれんしゅうをつづけて、来年も行きたいです。

5年生 宮田 浩明君

５月にあったわんぱくすもうで、ぼくはゆう勝したので、東京に行くことになった。軽い気持ちで出たのに、あれよあれよというまに勝った。それからは、練習をしたり、市長さんをほう問したり、そしていよいよ国技館へ行きました。すもうべやにとまらせてもらって、ちゃんこなべをごちそうになりました。はじめて食べたちゃんこは、おすもうさんが作ってくれたものでしたが、おいしくありませんでした。試合の日は、１回戦で負けました。とてもきんちょうして、あっというまに、終わりました。でもいろんな人と知り合いになれて、よかったです。

6年生 頼兼 稔和君

ぼくは、わんぱく相撲三原場所で夢にまで見た優勝が出来て、わんぱく相撲全国大会に出場することが出来ました。

東京に行く日、台風で飛行機が飛ばないのではと思い心配になりました。でも僕達の気持ちが通じたのか、飛行機で行ける事になりました。そして羽田空港に着いたら東京はくもり空で、広島よりよかったです。台風の影響はなく一安心でした。

モノレールと電車に乗り、両国国技館に着きました。もうリハーサルが始まっていて、体格のよい人がたくさん居て、ぼくが思っていたレベルより高い様に思えました。もう一回リハーサルがあり入場行進をしました。ぼくの横にいる人は大きい体格でびっくりしました。でも大きいからと言って強いとは限らないと思いました。

リハーサルが終って、大鵬部屋へ行きました。若い力士がたくさんおられて、大きい体でした。ちゃんこ鍋の用意をしていました。大鵬部屋の入口を入った所にトロフィーやメダルや賞状がたくさんあり、ものすごく大鵬さんは強かったんだなと知りました。他の小学校の人も一緒に色々な話をして、夕食はちゃんこ鍋で野菜や肉がたっぷりあり、食べたらほっぺがおちそうになるくらいとってもおいしかったです。南長野の人といい友達になりました。

翌日の朝食はカレーでした。たっぷり入っていて、全部食べきれませんでした。次にタクシーで、両国国技館へ行きました。入場行進の時は、ドキドキして緊張していました。四年生の日高君は、突っこんではたき込みで敗けてしまいました。泣いていたけどよく頑張ったと思いました。五年生の宮田君は、敵に強く押されて敗けてしまいました。ぼくの番が近づいてきて、ますます緊張してきました。自分がもっている力を出しきろうと思いました。あいさつもしっかりしようと思いました。合図で始まりました。ぼくは相手を力一杯押していきました。でも敵は力があり、押してもあまり動かないので、少しずつでもいいので押して行こうと思いましたが投げられてしまい敗けてしまいました。でも、僕は全力をつくしたので悔いはありません。全国には、すばらしい力を持った人がいるんだなあと思いました。わんぱく相撲全国大会では、一回戦で敗けたけど、出場した事に意味があると思いました。小学校生活最後でいい思い出になりました。二日間みんなと過ごせてとても楽しかったです。

•iSグループ　㈱赤谷木材　Ⓐうまい酒 旭菊　居酒屋あや崎　糸木材㈱　お好み焼 いろは　㈲上田製版印刷所　㈱ウツミ　宇野税理士事務所　NRK保険事務所　㈲サ　大下建設㈱　㈲エル　オートザム三原　大成土地家屋調査士事務所　㈱オギロパン　医療法人社団 越智眼科　尾道ダイハツ販売㈱　笠下工務店　勝原木材㈱　勝原不動産　亀井鉄工㈱　カネダ薬品　関西通商㈱　完山商店　やきにく牛ちゃん　㈱キヨーデン　京覧カントリークラブ　熊田ガラス㈱　芸備燃料㈱　㈱河城石材店　㈱コグマヤ　㈱寿薬局　スタンドクラブコント・パートII　㈱崎本建設　㈱佐竹工業　㈱三栄電工　㈱三光工務店　㈱澤井製作所　㈱山陽建設　山陽製粉㈱　㈱シシステムイン国際　㈱柴原電機　ジャスコ三原ショッピングセンター　私立幼稚園 昭和園　尾道市杉原商事㈱　瀬戸内不動産㈲　第一歯科医院　㈱大建組　ダイフク興産㈱　㈲高山ペットショップ　㈲多田電気工事　㈱田中組三原支店　タイニーグチ　㈱中央コンサルタント　㈱中国新聞サービスセンター　㈱中国新聞トラベルサービス　パブリックレストラン つばみ　くし焼き 狄

㈱赤石硝子建材　浅田公認会計士事務所　㈱アトムワークス　スナック 石垣　㈱服地の今井　㈲インテリア・サカイ　上田鉄工㈱　内海鉄構建設㈱　浜田市㈲江木蒲鉾店　㈱エヌワイティグループ　㈱南食品　大東印刷㈱　やき肉 桜鳳　岡本電機㈱三原営業所　奥延食品㈱　小野税理士事務所　尾道三菱自動車販売㈱　親切ギフト かつはら　㈱勝村商店　金永保険事務所　カメラのファースト　㈲関西建設㈱　関西薬品㈱　キャメル　㈱共栄商事　㈱共立電機産業　共和設計事務所　グラフィック機材㈱　㈱広愛産業　㈱広島日日新聞社　㈱小島洋紙店　㈲小西豆腐店　㈲小松家具店　㈱作田洋紙　㈱サービスセンター　さこだモータース　㈱サツキ工業　㈱三基工業　酒楽館 サワダ　㈱山陽コカコーラボトリング　中国新聞広告代理店三洋企画　㈱シゲモリ本店　㈱柴田産婦人科　㈱島本建設　㈱住正田文華堂創　㈱新鈴木建設　砂田歯科医院　㈲千田洋紙店　ソナリア平川ふとん店　第一生命保険㈱大日ヘルスショップ　㈲大日石油　ダイヤ@タコインターネット　㈱田辺製麩工場　㈱田中運輸　㈲鶴田電設コンサルタント　㈲天吉　㈲中央地所　㈱中国建機㈱本郷営業所　リカーランド つきやま　小料理